



Maui Visitors Bureau - Maui Loves Kids
Press Release

For more information:

PacRim Marketing Group, Inc.
嶋 麻衣子 (Maiko Hanawa)

808/949-4592 (内線 839)
808/942-5251 facsimile
mhanawa@pacrimmarketing.com
www.pacrimmarketing.com

2001 年6月

生きたハワイの文化に触れられるマウイ旅行は絶好の学びの場
Native Hawaiian Culture Makes a Maui Trip an Educational Experience

「Proud To Be Hawaiian (誇り高きハワイアン)」——。マウイの街を走るクルマのバンパーにこんなステッカーが貼られているのを見かけることがあります。ハワイに生まれ育ち、身体に隅々まで染みついた故郷の伝統を愛するマウイの人々にとって、ハワイアンであることへの誇りは、心の奥深くに宿る魂の叫びなのです。

マウイ島は、土着の文化があることを一瞬忘れてしまうほど、さまざまな魅力にあふれています。特に小学生や中学生がいる家族をはじめ、海外旅行中に学びの機会を持つとお考えの場合、マウイは旅先として絶好の場です。今も生き続ける土着の芸術、言語、信仰を知るチャンスなのです。「魔法の島」の異名をとるマウイでは、日々の暮らしにハワイ文化がとけ込んでおり、目に映る風景の至る所にハワイアンの精神が息づいています。もちろん、こうした伝統文化は観光客にも広く公開されており、その神秘的な魅力は尽きません。

太古の時代につながる遺跡を見つけることもハワイ文化を学ぶきっかけになります。たとえば、ハナにあるピイラニハレ・ヘイアウは、建立から400年の歳月を隔てた今も「マナ」(霊力)に包まれています。ヘイアウはいわば巨大な神殿。特にピイラニハレ・ヘイアウは、ハワイ州で発見された建造物の中でも最大規模とされています。このヘイアウは、現地のハワイ人一族によって今も大切に守られています。その保護方法としては、所要時間2時間のウォーキングツアーを実施する形を採っています。現地にはカハヌ・ガーデンと呼ばれる連邦政府出資の民族植物学研究所もあります。

このほか、2つの代表的なヘイアウが、マウイ中央部のワイエフからほど近いハレキイ・ピハナカラニ・ヘイアウ州立史跡公園内にあります。そのうちの1つ、ピハナ・ヘイアウは、生け贄を捧げるために使われたルアキニ・ヘイアウ(生け贄用ヘイアウ)でした。

また、「カウハレ」と呼ばれるヤシの葉を葺いた古代住居も再現されています。代表的な住居は2つあり、それぞれ島の両端にあります。1つは東マウイのハナ文化センターにあります。もう1つは、ラハイナ・センターにあるハレ・カヒコ（「古い家」の意）です。

しかし、マウイのハワイ文化は、建物もさることながら日々の暮らしに色濃く反映されています。公式行事はもちろん、非公式の催しも含め、フラダンスを観賞したりスチールギターの演奏に耳を傾けたりする機会は決して少なくありません。また、レイづくりの講座やカヌーレガッタ観戦、ポイ（タロイモを使ったハワイ伝統食）の試食など、ハワイ文化に触れるチャンスはたくさんあります。実際、1年を通じて毎日マウイのどこかで伝統文化に出会えるはずで

す。そんなハワイの伝統文化に触れたいという方にぜひおすすめしたいのが、ワイルクにあるベイリー・ハウス博物館です。ボストンからやってきた宣教師らが住んでいた家で、保存状態も良く、現在はマウイ歴史協会の本部にもなっています。このベイリー・ハウスには、工芸教室、講座、パフォーマンスなど多彩なプログラムが用意されています。その他の見どころとしては、島内のあちらこちらにあるホテルやショッピングセンターはいかがでしょうか。多彩な企画・催しが用意されており（特に金曜日）、地元の職人やパフォーマー、長老らとの交流も楽しめます。マウイにはさまざまなホテルがありますが、中でもザ・リッツ・カールトン・カパルア、カアナパリ・ビーチ・ホテル（ポオケラ・プログラム）、アストン・ワイレア・リゾート（ホオロカヒ・プログラム）の3ホテルは、観光客向けにさまざまな企画を用意するなど、ハワイ文化の普及に特に熱心です。

もちろん、パフォーマンスに場所関係ありません。マウイ芸術文化センターにある豪華なキャッスル・シアターから各地のショッピング・センターの特設ステージに至るまで、マウイの音楽界には見逃せない逸材がそろっています。ハパやケアリー・レイシェルなどの人気若手スターも、ホオピイ・ブラザーズ、アングル・ソル・カワイホアなどの“歩く文化遺産”の域に達した超ベテランも、地元ミュージシャンとして高い人気を集めており、実際に島の暮らしを詩う曲は多数あります。

マウイの年中行事・イベントには、土着文化を反映し、ハワイの伝統文化を後世に伝えるものが数多くあります。たとえば、毎年3月になると、ハナの人々は週末をまるごと使って東マウイ・タロ・フェスティバルを町の野球場で開催します。勉強になる企画や催しが盛りだくさんで、音楽あり、食べ物あり、工芸ありの楽しい週末です。4月には、ザ・リッツ・カールトンでハワイ文化を前面に押し出した「セレブレーション・オブ・アート」が3日間にわたり開催されます。5月1日のメイデーは、ハワイの伝統文化をたたえる花いっぱいの壮観なお祭りが開催されます。また、5月は、アストン・ワイレアで毎年恒例のレイ作りフェスティバルが開かれます。ラハイナの町では、イン・セレブレーション・オブ・カヌーズ（「カヌーをたたえる」の意）と呼ばれるストリート・フェスティバルで賑わいます。もちろん、主役はハワイアン・スタイルのカヌーです。続いて6月といえば、カメハメハ・デー。ラハイナでは毎年恒例のキング・カメハメハ・パレードが繰り広げられます。これは「ホオラウレア」と呼ばれるハワイ流のお祭りで、ハワイの偉大なる統治者、カメハメハ大王をたたえます。同じく6月には、マウイ芸術文化センターで「スラック・キー・ギター・フェスティバル」（スチールギターの祭典）が開催されます。12月になると、カアナパリは「ナ・メレ・オ・マウイ」が始まり、島は歌声とダンス一色のクリスマスムードに包まれます。

とはいえ、こうしたイベントに合わせて観光プランを立てる必要はありません。新聞に目を通したり、周囲にちょっと声をかけたりすることから楽しい旅が始まります。マウイでハワイの伝統文化に出会える場所は、博物館やホールの中だけではありません。島のあちらこちらにハワイ伝統文化が息づいています。「Proud To Be Hawaiian（誇り高きハワイアン）」の精神に生きるマウイの人々は、観光に訪れるゲストをいつでも暖かく迎え入れてくれるのです。

###